Weekly report

MINKABU THE INFONOID
株式会社　ミンカブソリューションサービシーズ
東京都港区東新橋1-9-1

為替週間展望＝ドル円は米経済指標やトランプ報道に左右されやすい展開か

［３月３１日からの１週間の展望］

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

週間高低（カッコ内は日）　3 月 24 日～ 3 月 28 日

	始 値	高 値	安 値	終 値	前週比
ドル・円	149.11	151.21(28)	149.02(24)	150.66	+1.34
ユーロ・ドル	1.0823	1.0858(24)	1.0733(27)	1.0786	-0.0032

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

国内株・金利／米国株・金利

	終 値	前週末比		終 値	前週末比
日経平均株価	37,120.33	-556.73	日本10年債利回り	1.550	+0.026
ダウ平均株価	42,299.70	+314.35	米10年債利回り	4.360	+0.113

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

＜来週の主要経済統計等＞

３１日　日本２月鉱工業生産指数速報値、日本２月小売業販売額
　中国３月製造業ＰＭＩ
　独２月小売売上高、独３月消費者物価指数速報値
　米３月シカゴ購買部協会景気指数
１日　日本２月雇用統計、日本２月有効求人倍率
　日銀短観（３月調査）
　豪２月小売売上高
　中国３月財新製造業ＰＭＩ
　豪中銀（ＲＢＡ）政策金利
　スイス２月小売売上高
　独３月製造業ＰＭＩ確報値
　ユーロ圏３月製造業ＰＭＩ確報値
　英３月製造業ＰＭＩ確報値
　ユーロ圏３月消費者物価指数速報値、ユーロ圏２月雇用統計
　米３月製造業ＰＭＩ確報値
　米２月雇用動態調査（ＪＯＬＴＳ）求人件数
　米３月ＩＳＭ製造業景況指数、米２月建設支出
２日　豪２月住宅建設許可件数
　米３月ＡＤＰ雇用統計
　米２月製造業受注
３日　豪２月貿易収支
　中国３月財新サービス業ＰＭＩ
　スイス３月消費者物価指数
　独３月サービス業ＰＭＩ確報値
　ユーロ圏３月サービス業ＰＭＩ確報値
　英３月サービス業ＰＭＩ確報値
　ユーロ圏２月生産者物価指数
　カナダ２月貿易収支
　米２月貿易収支、米新規失業保険申請件数
　米３月サービス業ＰＭＩ確報値
　米３月ＩＳＭ非製造業景況指数
４日　日本２月勤労者世帯家計調査
　スイス３月雇用統計
　独２月製造業受注指数
　カナダ３月雇用統計
　米３月雇用統計
　パウエルＦＲＢ議長講演

－－

【前回のレビュー】米国の経済指標やトランプ米大統領発言の動向に振り回される展開が継続しそうだ。米経済指標は強弱入り混じっており、一方向には傾きにくい展開とみられる。それよりもトランプ発言に左右されやすく、振り回される展開となろう。明確なトレンドは出にくく、最近のレンジ内を中心とするもみ合いになるとした。

【トランプ関税関連の報道で上下に振幅】
　トランプ米大統領による関税関連の発言や報道に振り回される展開が続いている。３月２１日にトランプ米大統領が４月２日発動の相互関税に関して、「柔軟性がある」などと述べ、一部の国や地域を除外する可能性を示唆した。関税対象が的を絞ったものになると報道から、相互関税への警戒感がやや後退した。その後も何度か似たような発言が出ている。

　３月２４日には３月の米サービス業ＰＭＩ速報値が市場予想を上回るとドル買い円売りで反応して、１５０．７０台まで上値を伸ばした。２５日の早朝には１５０．９０台まで上昇したものの、１５１円接近では上値を抑えられて１４９．５０台まで値を削る展開となった。その後は再び上昇に転じている。

　２６日に植田日銀総裁が、「基調的物価上昇率はまだ少し２％を下回っている」「コメ含む食料品価格は上昇率としては落ちついてくる」とハト派寄りの発言をしたことが円売りを促した。さらにトランプ米政権が数週間以内に銅の輸入関税を実施する可能性があると伝わったことがドル高を後押した。一連の動きを受けてドル円は１５０円台後半まで上昇を見せた。

　トランプ大統領は２６日に「まもなく自動車業界への関税を発表する」と述べた。その後、日本時間２７日早朝に「アメリカ製でないすべての自動車に２５％の関税をかける」と発表した。また、「アメリカで自動車を生産する場合は関税がかからない」とも述べている。

　ドル円は２５日に１４９円台半ばまで下落したものの、２７日には１５１円台を回復するなど、おおむね１５０円超の水準で推移するなど、堅調な流れを見せている。

【米経済指標やトランプ関連報道で荒れた動きか】
　日米の経済指標やイベントとしては、３１日に日本２月鉱工業生産指数速報値、日本２月小売業販売額、米３月シカゴ購買部協会景気指数、１日に日本２月雇用統計、日本２月有効求人倍率、日銀短観（３月調査）、米３月製造業ＰＭＩ確報値、米２月雇用動態調査（ＪＯＬＴＳ）求人件数、米３月ＩＳＭ製造業景況指数、２日に米３月ＡＤＰ雇用統計、米２月製造業受注、３日に米２月貿易収支、米新規失業保険申請件数、米３月サービス業ＰＭＩ確報値、米３月ＩＳＭ非製造業景況指数、４日に日本２月勤労者世帯家計調査、米３月雇用統計などがある。

　１日の米２月雇用動態調査（ＪＯＬＴＳ）求人件数、米３月ＩＳＭ製造業景況指数、２日の米３月ＡＤＰ雇用統計、３日の米３月ＩＳＭ非製造業景況指数、４日の雇用統計などが注目される。

　米２月雇用動態調査（ＪＯＬＴＳ）求人件数の事前予想は７６９．０万人となり、前回の７７４．０万人を下回る見通しとなっている。米３月ＩＳＭ製造業景況指数の事前予想は４９．８と好不況の境目である５０を割り込み、前回の５０．３を下回る見込み。米３月ＡＤＰ雇用統計は前月比１１．９万人増と、前回の７．７万人増を上回る見込み。

　米３月ＩＳＭ非製造業景況指数の事前予想は５３．１と、前回の５３．５を下回る見通し。米雇用統計では非農業部門雇用者数が前月比１３．５万人増と前回の１５．１万人増を下回る見通し。失業率の予想は４．１％で前回から変わらずの見通し。経済指標はおおむね鈍化見通しとなっており、市場予想に近い推移となればドル売りに傾きやすくなる。なお、４日の米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）のパウエル議長の講演にも注目される。

　なお、トランプ関税による米国での物価上昇圧力の高まりも警戒されており、ドル高

圧力として意識されそうだ。米経済指標やトランプ関税関連報道に左右されながらも底堅い動きが継続するとみられる。ドル円の目先の予想レンジは、１４８．００－１５２．００円。

【ユーロドルは一進一退の動きか】
　ユーロドルは買いが一巡して１．０９５０台まで上昇した後は下げに転じており、１．０７台前半まで下落してきた。２１日線を割り込んだところで下げ渋りの動きを見せている。高値圏から２００ポイント超の調整を見せてきたことで売りが一服した。目先の調整は一服したものの、戻りの動きは限定的となり、最近の水準を中心に一進一退の動きとなりそうだ。ユーロドルの目先の予想レンジは、１．０６００－１．０８５０ドル。

　ポンドドルは１．３０近辺から下げを見せたものの、ユーロドルほどの深押しはなく、底堅い動きを見せている。１．２８台後半まで下落した後は１．２９台半ばまで戻している。２１日線にサポートされており、堅調な推移を見せながら緩やかに上値を追う展開が見込まれる。ポンドドルの目先の予想レンジは、１．２７５０－１．３１００ドル。

　日米以外の今後の経済指標やイベントは、３１日に中国３月製造業ＰＭＩ、独２月小売売上高、独３月消費者物価指数速報値、１日に豪２月小売売上高、中国３月財新製造業ＰＭＩ、豪中銀（ＲＢＡ）政策金利、独３月製造業ＰＭＩ確報値、ユーロ圏３月製造業ＰＭＩ確報値、英３月製造業ＰＭＩ確報値、ユーロ圏３月消費者物価指数速報値、ユーロ圏２月雇用統計、２日に豪２月住宅建設許可件数、３日に豪２月貿易収支、中国３月財新サービス業ＰＭＩ、独３月サービス業ＰＭＩ確報値、ユーロ圏３月サービス業ＰＭＩ確報値、英３月サービス業ＰＭＩ確報値、ユーロ圏２月生産者物価指数、４日にスイス３月雇用統計、独２月製造業受注指数、カナダ３月雇用統計などがある。

MINKABU PRESS 佐藤昌彦

※投資や売買についての判断は自己責任でお願いします。

＜免責事項＞
本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブソリューションサービシーズは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブソリューションサービシーズが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

＜著作権について＞
本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブソリューションサービシーズ)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。